

令和5年度 第2回沖縄県がん診療連携協議会 ベンチマーク部会 議事要旨

開催日時：令和5年5月1日(火) 17:00～18:00

場 所：Zoom を利用した Web 会議

出 席：6 名

井岡亜希子(まるレディースクリニック院長)、伊藤ゆり(大阪医科薬科大学研究支援センター医療統計室室長・准教授)、埴岡健一(国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科教授)、伊佐奈々(琉球大学病院がんセンター・診療情報管理士)、増田昌人(琉球大学病院がんセンター長)、有賀拓郎(琉球大学病院診療情報管理センター副センター長)、

欠 席：3 名

平田哲生(琉球大学病院診療情報管理センター長)、天野慎介(全国がん患者団体連合会理事長)、東尚弘(東京大学公衆衛生学健康医療政策学教授)

陪 席：1 名

西佐和子(琉大病院がんセンター事務)

【報告事項】

1. 令和5年度第1回ベンチマーク部会議事要旨について
(事務局提出：資料1-1、1-2、1-3)
増田部会長より、資料1-1、1-2、1-3に基づき令和5年度第1回ベンチマーク部会の議事要旨について説明があった。
2. 第4次沖縄県がん対策推進計画(協議会案)の作成骨子(事務局提出：資料2)
増田部会長より、資料2に基づき説明があった。
3. 沖縄県がん計画の工程表(県庁案)(事務局提出：資料3)
増田部会長より、資料3に基づき説明があった。
4. 第4次沖縄県がん対策推進計画策定に係る体制図(事務局提出：資料4)
増田部会長より、資料4に基づき説明があった。
5. その他
特になし。

【協議事項】

1. 沖縄県に対する提案方法について(事務局提出：資料5)
埴岡委員より、提出する時期については、早いペースで動いているため5/9に仮出し、5/16に協議会の承認を得て提出してどうかとの意見があった。
井岡委員より、予防と検診のロジックモデルを作ったが、第3次中間評価で掲載されている指標をなるべく引用作成した。中間評価で用いている数値を入れて示

すと県もなじんでよいと思う。

2. 沖縄県におけるがん対策の課題について

増田部会長より、伊藤先生のまとめてくれた「沖縄県のがん」は示し方が印象に残ってわかりやすいとの意見があった。伊藤委員より、検診は受けていても医療に繋がっていないところを重点課題で上げられたらいいと思うとの意見があった。

3. 協議会案の分野項目分け（≡目次）とロジックモデルのシート数の決定について

協議会案の分野項目分けについては、国に比べて沖縄は簡素化して共通部分で束ねる方式とすることとなった。

例えば、医療分野だと①から⑨まで9個あって9シートあるように見えているが、それは改ページであり分野アウトカム1枚が1シートだというように整理して説明する方がよい。

4. 予防分野のロジックモデルの検討（井岡先生提出：資料8）

5. 検診分野のロジックモデルの検討（井岡先生提出：資料8）

井岡委員より、資料に基づき説明があった。黒字は県の第三次がん対策推進計画の中間評価の中に書かれていた指標、青字は県に書き込んでほしいおすすめの指標、背景が黄色は国のがんのロジックモデル案から取ってきた部分になる。

伊藤委員より、HPVは国の方でも書いてあるので入れた方がよいと思うとの意見があった。

6. 医療分野のロジックモデルの検討（事務局提出資料9）

埴岡委員より、国とどこが違うのかの表示が必要だと思う。文言の分量については、ロジックモデル上では2行24文字以内にして、ドキュメントの方で長く書くという方法もある。

7. 沖縄県に対するデータ等の提供依頼について（資料なし）

なし

8. 部会の今後の方針について（資料なし）

増田部会長より、現在できているロジックモデルの体裁を新しいフォーマットに合わせて整えることとなった。また、国に入っているものいないものを色で表示するようにする。

伊藤委員より、進行度を早期と進行期に分けた形の罹患率は検診の評価にはよいが、現在国がんで公開前申請中であるため、公開については国がんの承認次第となる。

早急にフォーマットの修正版をみなさんに送り、5/8には第一最終案としてまとめたうえで県の協議会へ送る。その後、5/12協議会で承認をえるという段取りになる。

9. その他

特になし。